

仕入れご担当様

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

民芸の意味

道具・衣食住・地方性
式場隆三郎著

4月下旬刊

日本諸国民芸の旅。実用の中にこそある美。

技巧の末に堕ちた現代に民芸思想がもつ意味を示す

すでに姿を消したものの、いまでも使われ続けているもの。『二笑亭綺譚』の著者として広く知られ、柳宗悦と共に民芸運動を推進した式場隆三郎が全国を歩いて見たものを語る体験的民芸論を集成。

馬鹿の一つ覚え的な作業からこそ生れる美、作家的意識が生じたときに失われる美、実用とともにある美の意味を明らかにする。

式場隆三郎（しきば・りゅうざぶろう）1898年生、1965年歿。精神科医、芸術評論家。新潟県出身。新潟医学専門学校（現新潟大学医学部）卒業。医学博士。静岡脳病院院長等を経て式場病院を開設。白樺派の影響を受け、医学の傍ら柳宗悦らの民芸運動に参加。ロマンス社社長となり雑誌『ロマンス』『映画スター』等を発行。画家山下清に注目し、その後援者となる。著訳書は非常に多く、著書にはよく知られた『二笑亭綺譚』（ちくま文庫）のほか『ファン・ホツホの生涯と精神病』『バーナード・リーチ』『ロートレック』『ゴヤ』等がある。

「民芸とは民衆的工芸のことであつて、貴族的工芸に対比するものである。そして個人作家的のものでなく、無名の工人によつてつくられる。従つて大量にできる実用性をもつもので、いわゆる飾りものの美術工芸品とは区別されねばならない。」

新刊 注文取扱返条付 (清藤)	取次番線印	部	民芸の意味 道具・衣食住・地方性 式場隆三郎著 ISBN978-4-910213-02-6 C0072 A5判上製 320頁 本体6900円+税	4 月 下 旬 刊
	お名前		FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101 http://www.shoshi-shinsui.com	

ご注文はJRCへ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者JRC後藤)